

泌尿器科紀要



第 12 卷 第 4 号

昭和 41 年 4 月

随想 アメリカ泌尿器科学始めの頃.....	東福寺 英之	319
病理剖検例よりみた膀胱癌の転移について.....	稲田 務・酒徳 治三郎・吉田 修・清水 幸夫・宮川美栄子・小松 洋輔・原田 卓	321
膀胱腫瘍の手術成績.....	加藤 篤二・石部 知行・田辺 泰民・竹中 生昌・福重 満・白石 恒雄・平川 十春・教田 稔・藤本 洋治・溝口 勝・嶋田 孝宏・田中 広見 小川 昌彦・梶尾 克彦・伊藤 順勉	333
Hydroflux について.....	水本 竜助・身吉 隆雄・刈田 宏作・片庭 義雄	341
腎、腎盂及び尿管奇形の統計的観察.....	加藤 篤二・田辺 泰民・白石 恒雄・福重 満・嶋田 孝宏・教田 稔・小川 昌彦・田中 広見	349
結石を合併せる腎杯憩室の1例.....	三橋 慎一・伊藤 晴夫	359
Wilms 腫瘍を合併した孤立性腎囊腫の1例.....	加藤 篤二・柳原 正志・白石 恒雄・田中 広見	368
上部尿路結石合併尿管ポリープの5例 附 尿管ポリープ報告例についての総括的検討.....	池上 奎一・緒方 二郎・瀬田 仁一・岡 道基・行徳 雄平	377
Adenomatoid Tumor の2症例.....	野坂昭一郎・家森 幸男・森沢 格・挾間 章忠	391
経皮の大動脈撮影について.....	小川 正見・中村 宏・高橋 正敏	395
前立腺肥大症に対する Eviprostat の使用経験.....	稲田 務・酒徳 治三郎・蛭多 量令・北山 太一	403
泌尿器科領域に於けるセファロジンの臨床的応用.....	重松 俊・古野 干城・三原 謙・大熊 謙彰・新井 亨	410
尿路感染症に対する Urobiotic の使用経験.....	楠 隆光・河西 稔・永原 篤	415
編集後記・購読要項・投稿内規.....		420
Metastasis of Carcinoma of the Bladder.....	T. Inada, J. Sakatoku, O. Yoshida, Y. Shimizu, M. Miyakawa, Y. Komatsu and T. Harada	321
Results of Operations for Urinary Bladder Tumor.....	T. Kato, T. Ishibe, Y. Tanabe, I. Takenaka, M. Fukushige, T. Shiraishi, T. Hirakawa, M. Kazuta, Y. Fujimoto, M. Mizoguchi, T. Shimada, H. Tanaka, M. Ogawa, K. Kajio and J. Ito	333
Hydroflux.....	R. Mizumoto, T. Miyoshi, K. Karita and Y. Kataniwa	341
Statistical Studies on Malformations of the Kidney, Renal Pelvis and Ureter.....	T. Kato, Y. Tanabe, T. Shiraishi, M. Fukushige, T. Shimada, M. Kazuta, M. Ogawa and H. Tanaka	349
Kasuistik von Nierenkelchdivertikel.....	S. Mitsuhashi und H. Ito	359
A Case of Solitary Renal Cyst Associated with Wilms' Tumor.....	T. Kato, M. Yanagihara, T. Shiraishi and H. Tanaka	368
Five Cases of Ureteral Polyps Associated with Calculi of the Upper Urinary Tract : Review and Discussion on Reported Cases of Ureteral Polyps.....	K. Ikegami, J. Ogata, Y. Seta, M. Oka and Y. Gyotoku	377
Two Cases of Adenomatoid Tumor : Histological and Histochemical Studies with a Discussion on the Histogenesis.....	S. Nosaka, Y. Yamori, T. Morisawa and F. Hazama	391
Percutaneous Retrograde Femoral Arteriography.....	M. Ogawa, H. Nakamura and M. Takanashi	395
Clinical Use of Eviprostat for Hypertrophy of Prostate.....	T. Inada, J. Sakatoku, K. Ebisuta and T. Kitayama	403
Clinical Use of Cephaloridine for Urological Infections.....	S. Shigematsu, T. Furuno, K. Mihara, Y. Ohkuma and T. Arai	410
Clinical Experience of "Urobiotic" for Urinary Infections.....	T. Kusunoki, M. Kasai and A. Nagahara	415

泌尿紀要
Acta Urol. Jap.

京都大学医学部泌尿器科学教室
Department of Urology, Faculty of Medicine.
Kyoto University, Kyoto, Japan
Editor : Prof. Tsutomu INADA

編集後記

大学病院トイツテモ 病院ニヨツテ事情ハ異ナルデアロウガ 多クノ問題ヲ抱エテイル。時々ハ 思イ出シテミルコトモ必要デアロウ。今更 イウモ古メカシイ位デアルガ 看護婦ガ少ナイ。ソノタメニ 診療モ入院患者モ制限セラレル。看護婦ノ少ナイノハ ソノ修業ヤ勤務ガ激シイノニ 社会的地位ヤ待遇ガ不充分デアリ 更ニ遡レバ 養成施設ガ貧弱デアル。コノタメニ 患者ヤ医療関係者ハ ドレダケ困ツテイルコトカ。原因ガドコニアルカラ考エネバナラス

医療従事者ト事務系統者トノ関係ニツイテハ 昔ハ両者ガーツノ目的ニ向ツテ密接ニ協調シテイタノニ 近頃ハ ソノ間ガ離レテ来タヨウダ。医療従事者ハ従来通りニ診療ヤ研究ヲ第一ニ考エテイルガ 事務系統者ハ 全部トハイワスガ 病院ヲ役所ノヨウニ 自分ヲ役人ノヨウニ考エテ 病院ガ 診療 研究 教育ノ場所デアルコトヲ 本当ニハ考エテイナイヨウダ。コレハ病院ニ限ラズ 大学本部ニオイテモ 教官側ト事務官側トハ 別々ノ意識ノ下ニ動イテイルヨウデアル。次ニ両者ノ数トカ定員ニオイテ 医療従事者ニ比ベテ 事務系統者ノ数ガ多過ギルヨウニ思ワレル。コノ原因モ詳シク考エル必要ガアル。

インターン問題ハ遅タトシテ進マヌ。昨年 アレダケノ大騒ギガ起コツタノニ コノ1年間ニ何ヲノ改革モ行ナワレナカッタ 全ク 泥沼ニ足ヲ突込シテヨウナ有様ダ。ドウシテラヨイノカ。関係諸方面デ 別々ニ意見ヲ述ベテオラズニ ソレヲノ代表者ガ膝ヲ交エテ 時間ヲカケテ 虚心坦懐ニ話シ合ツテミタラドウカ。コノママデハ 医学教育ノタメニ不利デアリ インターン生モ カワイソウダ

大学院ハ 入学拒否トイウ事態ニ至ツタ 元来 コノ制度ハ非常ニ不備ナ条件デ出発シテイルノデ 問題ガ起コルノハ当然デアル。院生ノ生活費ノ問題ハ 数年前ニ京大デ開カレタ学術会議ノ 大学院問題ニ関スル公聴会デ 最モ強ク 院生側カラ訴エラレタノニ ソノ後モ全ク放置サレテイル。コレハ 無給医局員ノ問題ト相通ズル。インターン 大学院 無給医局員ノコトハ一連ノ問題トシテ 対策ヲ立テネバナラス。単ニ論議スルダケデハナク 実効ヲ挙ゲルヨウニセネバナラス

結局ハ 当路ノ役人 大学関係者ガ 事ナカレ主義 保身主義デハナク 勇気ヲ以テ 本気デヤル気ガアルカ ドウカデアル(昭和41年4月)

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する。1冊料金 150円。払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は会員に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名:誌名、巻数:頁数、年次。
例。1) 中野:泌尿紀要, 1:110, 昭30. 2) Lazarus, J. A. J. Urol., 45:527, 1941.
5. 欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳する。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受ける。
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、欧文組版等は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。